

勝山館跡ガイダンス施設 4月25日 重要文化財旧笹浪家住宅 オープン

4月25日(土)より旧笹浪家住宅と勝山館とガイダンス施設の平成27年度の開設を行います。旧笹浪家住宅では、昔の生活の様子を再現しているほか円空仏を展示しています。また、ガイダンス施設では、勝山館跡の全体模型や出土物の一部を展示しています。

《開設期間》4月25日(土)～11月8日(日)

《開設時間》午前10時～午後4時

《休館日》毎週月曜日(祝日の場合は翌日)

※開設期間、開設時間、休館日は両施設共通

《入館料》

- ・勝山館跡ガイダンス施設
大人200円 小中高生100円
- ・重要文化財旧笹浪家住宅
大人300円 小中高生100円
- ・両施設共通観覧券
大人400円 小中高生100円



復元が完了した漆器

重要文化財の漆器 保存処理・復元を行う

この度、国指定重要文化財上ノ国勝山館跡出土品921点のうち漆器2点の

保存処理および復元作業を国の補助を受け実施しました。

この2点についてはこれまで水に漬けて保管していたもので、復元作業は経験が豊富な埼玉県専門業者が文化庁の指導を仰ぎながら行いました。復元に際しては、破片をつなぎ合わすと共に、彩色も行い、当時の状態に近づけています。今回復元が完了した2点については、今後、公開を予定しています。

出土物調査のため来町 福井県埋蔵文化財センターより

なお、平成27年度も国指定重要文化財の保存処理および復元作業を進めます。

3月4日、越前焼調査のため福井県埋蔵文化財調査センターの木村孝一郎主査が来町しました。

越前焼は、平安時代末期の福井県周辺でつくられた焼き物です。中世の頃は、主にかめやすり鉢が生産され、これらは堅くて丈夫であることから重宝され、室町時代後期には日本海側最大の窯場として最盛期を迎えています。



勝山館跡から出土した越前焼のすり鉢

図書だより

図書新着ごあんない

- | | | |
|------------------|---------|---|
| * 九年前の祈り (芥川賞受賞) | 小野正嗣 | 著 |
| * サーカスナイト | よしもとばなな | 著 |
| * 絶唱 | 湊かなえ | 著 |
| * 奴隷小説 | 桐野夏生 | 著 |
| * 千春の婚礼 | 平岩弓枝 | 著 |
| * 透明カメレオン | 道尾秀介 | 著 |
| * 影踏み鬼 | 佐藤愛子 | 著 |
| * 晩鐘 | 川村元氣 | 著 |
| * 億男 | 宮部みゆき | 著 |
| * 悲嘆の門 (上・下) | 柳 広 | 著 |
| * ラスト・ワルツ | 梅原 猛 | 著 |
| * 親鸞「四つの謎」を解く | 池内 恵 | 著 |
| * イスラーム国の衝撃 | | |



本は キラキラ 万華鏡
第57回こどもの読書週間
4/23～5/12

時 間：(火～金) 9時～17時
(土・日・祝祭日) 12時～17時

休館日：毎週月曜日、年末年始

場 所：上ノ国町民図書室(ジョイ・じょぐら内)



出土の状況などを詳細を記録

今回の調査は、勝山館跡も越前焼のかめやすり鉢が多数出土していることから来町したものです。木村さ

んは越前焼の出土の状況や特徴などを大変詳細に記録していました。勝山館跡からは越前焼のほかに美濃焼や中国産の青磁などの陶磁器だけで約5万点が出土していることから、この地が日本海交易で栄えていたことを読み解くことができます。史跡や出土物の研究調査での来町は毎年数多くあります。このことが示すとおり上ノ国が北海道の歴史を語る上で、欠くことのできない地であることを物語っています。